4-135-541-**01** (1)

データ
プロジェクター

取扱説明書

VPL-EX70
VPL-EX7
VPL-ES7

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～8ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に一度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

目次

はじめに

画像を映す

便利な使いかた

メニューで行う調整と設定

お手入れ

その他

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コード、接続ケーブルを使う

付属の電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁から 30cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。
- プロジェクターの下に布や紙を敷かない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース線を
接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付け、移動は必ずお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。
天井の強度不足、取り付け方法が不十分のときは落下し大けがの原因となります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

長時間の外出、旅行の時は、電源プラグを抜く

プラグをコン
セントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

アースキャップやコネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合はただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

本機を立てておかない

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

アジャスターを調整する場合は、アジャスターに手などが触れないよう慎重に行ってください。アジャスターに指を挟み、けがの原因になることがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

排気口周辺には触れない

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換に合わせて、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

電源コード／接続ケーブルに足をひっかけない

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけるとプロジェクターが倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない

プロジェクターの後面にある盗難防止用バーには市販の盗難防止ワイヤーを取り付けるなどの目的で使用してください。
この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下してけがや故障の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬する際は、キャリングケースを使用する

本機をキャリングケースに入れずに運搬すると、落下してけがや故障の原因となることがあります。

充分に冷えた状態でキャリングケースに収納する

電源を切った直後に本機をキャリングケースに収納すると、熱がこもるためキャビネットの温度が上がり、次に本機を取り出す際にやけどの原因となります。
本機をキャリングケースに収納する際は、クーリングが終了し、ファンが止まってから充分冷えた状態で収納してください。

エアーフィルターカバーをつかんで持たない

本機をエアーフィルターカバー部分をつかんで持ち上げると、不意にエアーフィルターカバーが外れて本機が落下し、けがや故障の原因となることがあります。

アジャスターを運搬や吊り下げ目的で使用しない

アジャスターは本機の傾きを調整する目的でのみ使用してください。運搬用の把手代わりに使用したり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、本機が落下してけがや故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の（+）と（−）を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および破棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

・ 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
・ 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
・ 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

火災　感電

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

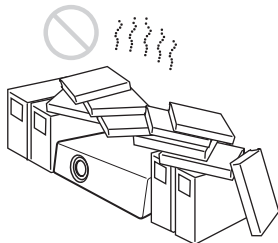
本機または使用済みランプを廃棄する場合

本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

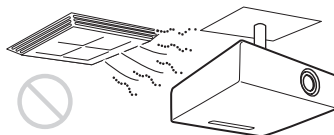
設置に適さない場所

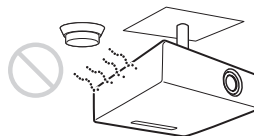
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

風通しが悪い場所

・ 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
・ 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、自動的に電源が切れます。
・ 本機の周囲から30cm以内には物を置かないようにしてください。
・ 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所

温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

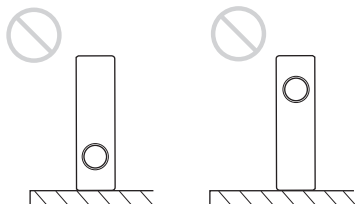
熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

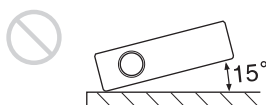
ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所

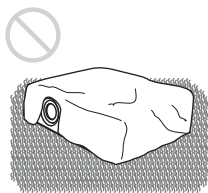
ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアーフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアーフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので、ランプ交換に合わせてに掃除してください。

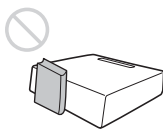
使用に適さない状態

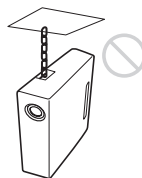
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない

本機を立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない

本機を 15 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない

吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない

プロジェクターの後面にある盗難防止用バーには、市販の盗難防止ケーブルを取りつけるなど、盗難防止の目的で使用してください。この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下や破損による事故の原因となります。

高地で使用する場合

海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの「高地モード」の設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用時のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**
また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投射してご使用される際に、プロジェクター毎に色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであっても設置時点で色合いの違いが目立つ場合があります。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

本機の設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。

結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

ファンの音について

本機の内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。
- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアーフィルターのお手入れについて

- 必ず定期的にエアーフィルターのクリーニングをしてください。
- クリーニング方法については、"エアーフィルターをクリーニングする"（51ページ）をご参照ください。

レンズ面のお手入れについて

レンズの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- レンズ表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

持ち運びをするときは

本機は精密機器です。本機をキャリングケースに入れて持ち運びするときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。また、本機をキャリングケースに収納する際には、電源コード及び全ての接続ケーブルやカード類をはずし、付属品はキャリングケースの前ポケットに収納してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

指定以外の電池に交換すると、破壊する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

ご注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

本機の特長

高輝度・高画質

高輝度

ソニー独自の光学システムの採用により、高効率な光学システムを実現。

高画質

VPL-EX70/EX7：約79万画素の0.63インチXGA高開口パネルを3枚採用し、RGB信号入力時には水平解像度1024ドット、垂直解像度768ドットを、ビデオ信号入力時には水平解像度750TV本を実現しました。
VPL-ES7：約48万画素の0.63インチSVGA高開口パネルを3枚採用し、RGB信号入力時には水平解像度800ドット、垂直解像度600ドットを、ビデオ信号入力時には水平解像度500TV本を実現しました。

ダイレクトパワーオン / オフ機能

スタンバイ状態を経ずに、ブレーカーなどでシステム全体のAC電源を直接入れたり切ったりすることが可能です。

容易なメンテナンス

フィルターは側面から取り付けや取りはずしができるため、天吊状態でも容易に掃除できます。フィルター掃除は、ランプ交換と同時に行ってください。

短焦点レンズ搭載

80インチサイズで投影時、投射距離が約2.4mと短く、限られたスペースでも大画面投射が行えます。

セキュリティ対応

セキュリティロック

電源オン時にパスワードの入力を要求し、入力がない場合は映像が投影されないようにすることが可能です。

パネルキーロック

本機の操作キーを全て無効にし、操作はリモートコマンダーのみに制限することが可能です。いたずらや誤操作を防ぎます。

その他、便利な機能

- 17言語に対応したオンスクリーンメニュー
- ピクチャーミューティング
- フリーズ
- ランプモード切替
- スタンバイ時低消費電力
- 盗難防止用バー

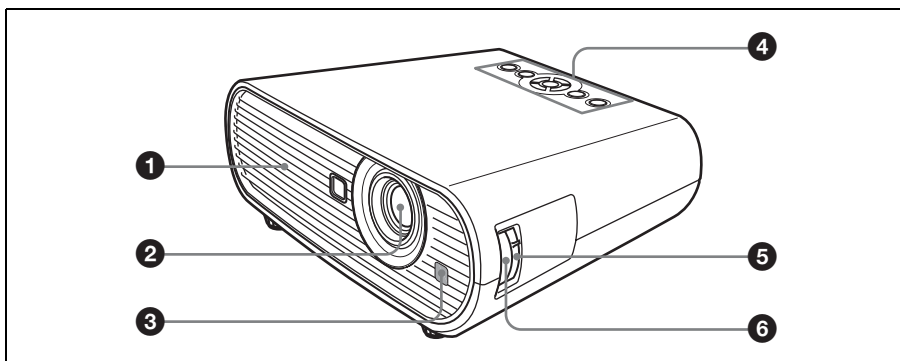
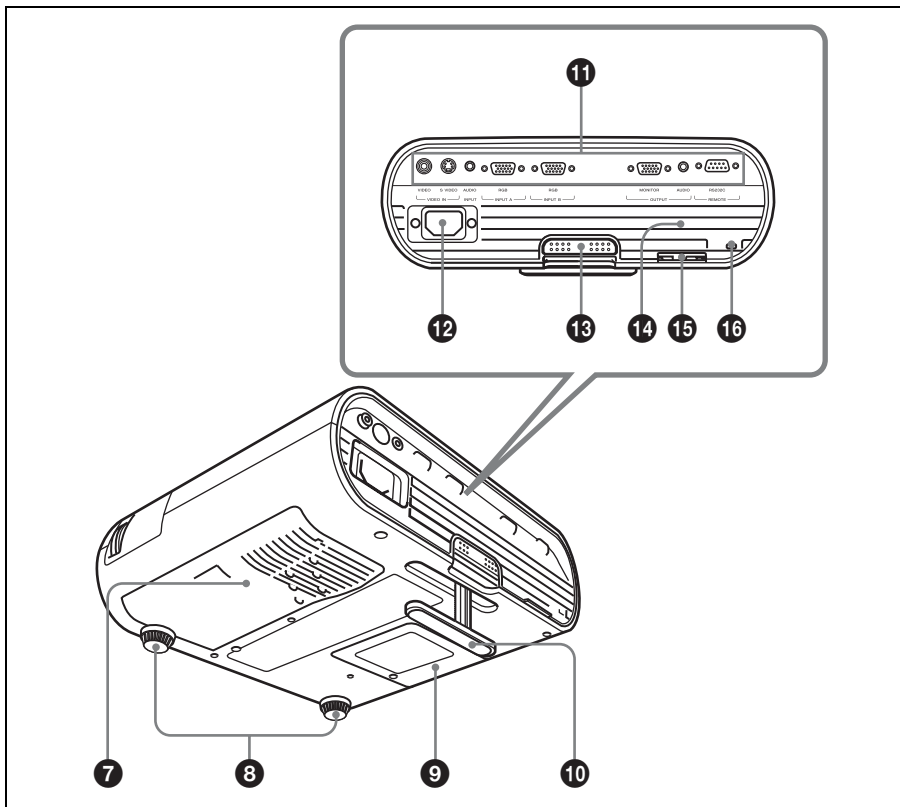
商標について

- Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- Macintosh は Apple 社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standard Association の登録商標です。
- Display Data Channel は Video Electronics Standards Association の商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

各部の名前と働き

天面／右側面／前面

後面／底面

❶ **排気口**

❷ **レンズ**

投影する前には、レンズカバーをはずしてください。

❸ **前面リモコン受光部**

❹ **コントロールパネル**

◆詳しくは、「コントロールパネル」（16ページ）をご覧ください。

❺ **ズームリング**

画像の大きさ（ズーム）を調整します。

❻ **フォーカスリング**

画像のフォーカスを調整します。

❼ **吸気口／エアーフィルターカバー**

❽ **アジャスター（前足）**

❾ **ランプカバー**

❿ **アジャスター**

⓫ **コネクターパネル**

◆詳しくは、「コネクターパネル」（18ページ）をご覧ください。

⓬ **AC IN（電源コンセント）**

付属の電源コードを接続します。

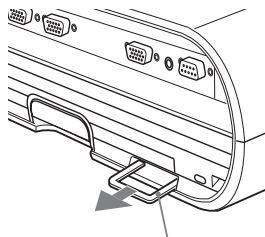
⓭ **アジャスター調整ボタン**

◆詳しくは、「アジャスターの使いかた」（26ページ）をご覧ください。

⓮ **スピーカー**

⓯ **盗難防止用バー**

市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。

引き出しにくい場合はドライバーなどを使って引き出してください。

盗難防止用バー

⓰ **盗難防止用ロック**

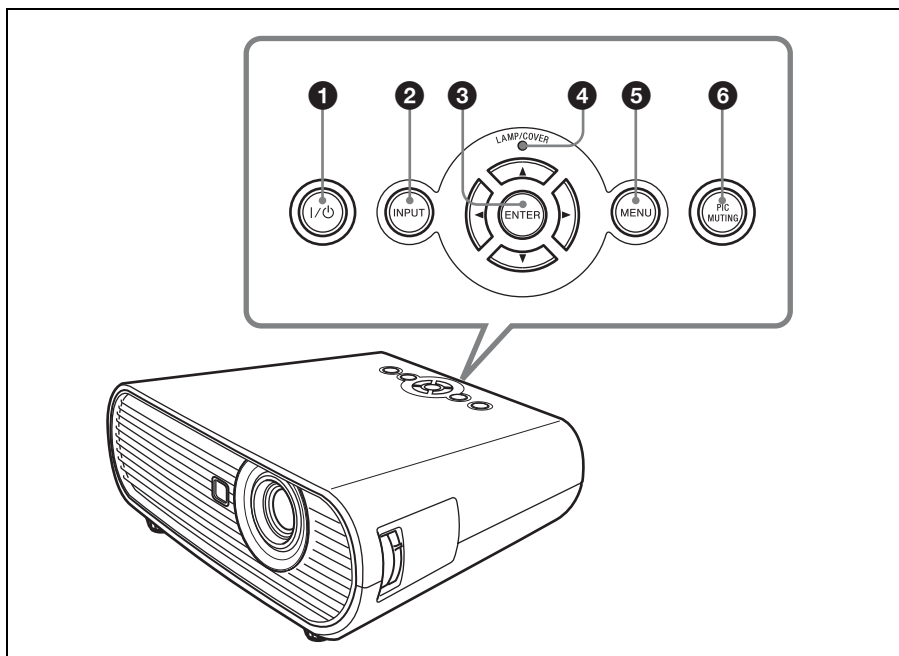
市販の盗難防止用ケーブル（Kensington社製）などを取り付けることができます。

Kensington Webページアドレス：
http://www.kensington.com/

ご注意

本機の性能を保持するために、**ランプ交換と合わせて必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。**

◆詳しくは、「エアーフィルターをクリーニングする」（51ページ）をご覧ください。

コントロールパネル

❶ I/⏻（オン／スタンバイ）キー

本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入ります。
電源を切るときは、画面の表示に従って、I/⏻ キーを 2 度押すか、約 1 秒間押したままにしてください。
また、ボタンの点灯や点滅は、次のような状態を示します。

赤色に点灯：電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I/⏻ キーで電源を入れることができます。

赤色に点滅：本機の内部が高温になったとき、または故障したとき。

緑色に点灯：電源が入っているとき、操作可能な状態のとき。

緑色に点滅：本体の電源が入り、操作可能になるまでの間、および I/⏻ キーで電源を切った後の約 90 秒間。

オレンジ色に点灯：パワーセービング中です。

◆詳しくは、28 ページをご覧ください。

❷ INPUT（入力選択）キー

入力信号を選びます。キーを押すたびに信号が切り換わります。

❸ ENTER（確定）／▲/▼/◀/▶（矢印）キー

メニューの設定項目を確定するときに押します。
メニューに表示されるカーソルを動かすとき、メニュー項目の数値を変えるときに使います。

❹ LAMP（ランプ）／COVER（カバー）インジケーター

以下の状態のとき、オレンジ色に点滅します。

2 回点滅のくり返し：ランプカバーがはずれているとき、またはエアーフィルターが正しく装着されていないとき。

3 回点滅のくり返し：ランプの交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

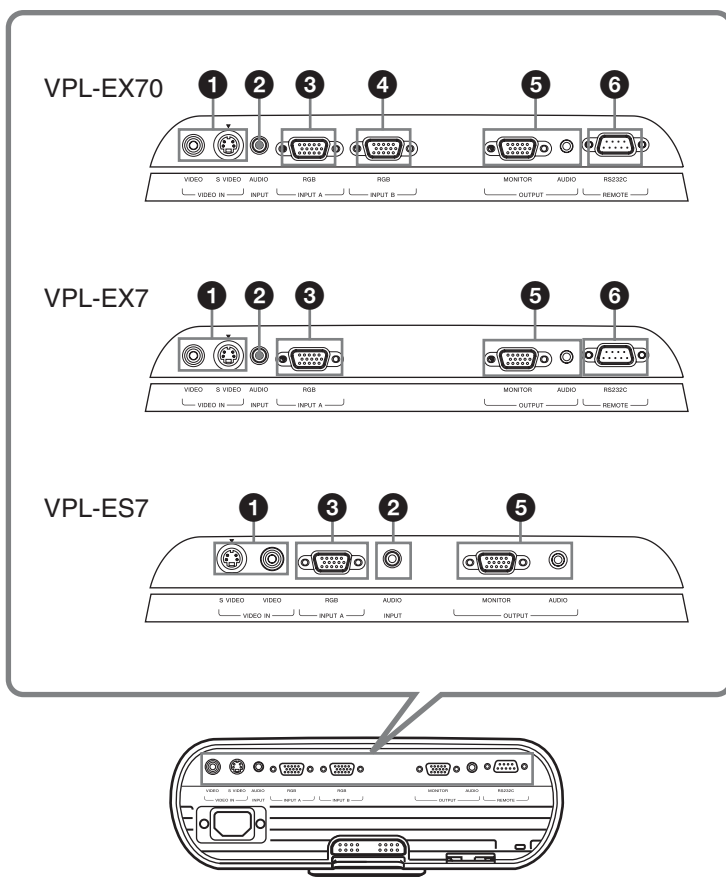
◆詳しくは、55 ページをご覧ください。

❺ MENU（メニュー）キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう 1 度押すとメニューは消えます。

❻ PIC MUTING（ピクチャーミューティング）キー

映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

コネクターパネル

❶ **VIDEO IN （ビデオ入力）端子**

- **S VIDEO （S 映像）端子（ミニDIN4 ピン）：**ビデオデッキなどの S 映像出力端子と接続します。
- **VIDEO（映像）端子（ピンジャック）：**ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。

❷ **AUDIO INPUT（音声入力）端子**

INPUT A または INPUT B 端子（VPL-EX70 のみ）、または VIDEO 端子に接続した映像の、どちらかの音声を入力することができます。

❸ **INPUT A （入力 A）端子**

RGB 端子（HD Dsub15 ピン、凹）：接続する機器に応じて、コンピューター信号、ビデオ GBR 信号、

コンポーネント信号、DTV 信号を入力することができます。
接続する機器に付属のケーブルまたは別売りのケーブルで接続します。

◆詳しくは、「コンピューターを接続する」（23 ページ）、「ビデオ機器を接続する」（24 ページ）をご覧ください。

❹ INPUT B（入力 B）端子

RGB 端子（HD Dsub15 ピン、凹）（VPL-EX70 のみ）：コンピューター信号を入力することができます。
接続する機器に付属のケーブルまたは別売りのケーブルで接続します。

❺ OUTPUT（出力）端子

・**MONITOR（モニター）端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：**モニターの入力端子に接続します。
INPUT A 端子または INPUT B（VPL-EX70 のみ）端子に接続された信号のうち、現在選ばれているチャンネルでかつコンピューター信号のみを出力します。

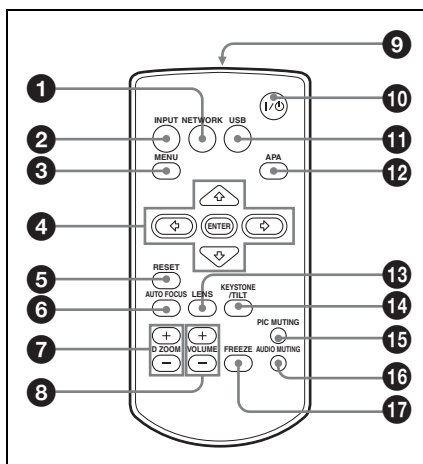
・**AUDIO（音声）端子（ステレオミニジャック）：**アクティブスピーカーに接続します。リモートコマンダーの VOLUME ＋ ／ － キーで音量を調整できます。

VIDEO または S VIDEO 、INPUT A が選ばれているときは、AUDIO INPUT 端子に入力された音声が出力されます。

❻ REMOTE RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）（VPL-EX70/EX7 のみ）

コンピューターから本機を操作するときに、コンピューターのコネクターと接続します。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。

❶ NETWORK（ネットワーク）キー

本機では使用しません。

❷ INPUT（入力選択）キー

❸ MENU（メニュー）キー

❹ ENTER（確定）／ ▲/▼/◀/▶（矢印）キー

❺ RESET（リセット）キー

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、D ZOOM した画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。

メニュー画面、または項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

❻ **AUTO FOCUS（オートフォーカス）キー**
本機では使用しません。

❼ **D ZOOM（デジタルズーム）＋/－キー**
画面上の希望の位置を拡大することができます。（デジタルズーム機能）

❽ **VOLUME（音量）＋／－キー**

❾ **リモートコマンダー発光部**

❿ **I/⏻（オン / スタンバイ）キー**

⓫ **USB キー**
本機では使用しません。

⓬ **APA（Auto Pixel Alignment）キー**
コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。

◆詳しくは、機能設定メニューの「スマート APA」（41 ページ）をご覧ください。

⓭ **LENS（レンズ）キー**
本機では使用しません。

⓮ **KEYSTONE（台形補正）／ TILT（傾き）キー**
垂直台形歪み補正を調整するときに使います。押すと、調整メニューが表示されます。▲/▼/◀/▶ キーを使って調整します。

⓯ **PIC MUTING（ピクチャーミューティング）キー**
映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

⓰ **AUDIO MUTING（オーディオミューティング）キー**
音声を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

⓱ **FREEZE（フリーズ）キー**
投影している画面を静止させます。解除するには、もう 1 度押します。PC 信号時のみ有効です。

リモコンを使用する前に

電池部の透明フィルムを引き抜いてください。

リチウム電池の入れかた

1 リチウム電池入れを引き出す。
図のように細い棒を差し込みながら、電池カバーを手前に引いてください。

2 リチウム電池をはめ込む。

3 リチウム電池入れを差し込む。

リチウム電池についてのご注意

- リモートコマンダーには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が使用されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、リモートコマンダーおよび電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

電池についての安全上のご注意

⚠警告

本機に付属の「安全のために」に記載されている「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。
リモートコマンダーが正常に働かない場合は、電池を交換してください。

リモートコマンダーのご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。本機の前面にあるリモコン受光部、またはスクリーンに向けて操作してください。
- リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど操作が可能な角度が広がります。

設置する

単位：m

投影画面サイズ（対角）（インチ）		40	80	100	150	200	250	300
距離	最小	1.1	2.3	2.9	4.4	5.8	7.3	8.8
	最大	1.4	2.8	3.5	5.2	7.0	8.8	10.5

（設計値のため多少の誤差があります。）

◆設置方法など詳しくは、「設置寸法」（64 ページ）をご覧ください。

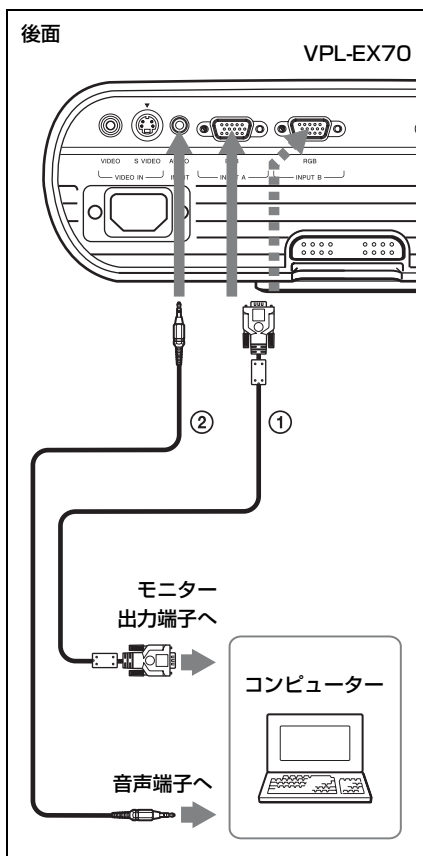
接続する

接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れや雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターを接続する場合

① HD D-sub 15 ピンケーブル(付属)
② ステレオオーディオ接続ケーブル(別売り)(抵抗なしのものをお使いください。)

ご注意

・オーディオ接続ケーブルは AUDIO INPUT 端子に接続します。
・本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、WXGA 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号を SVGA（VPL-ES7）または XGA（VPL-EX70/EX7）に設定することをお勧めします。
・ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディス

プレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

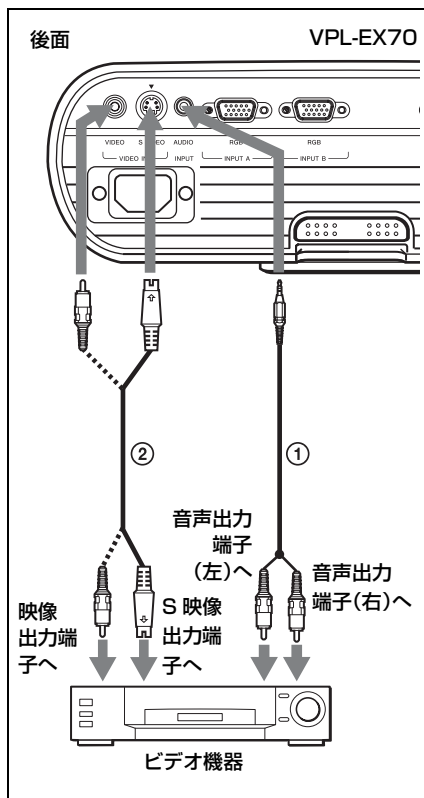
◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

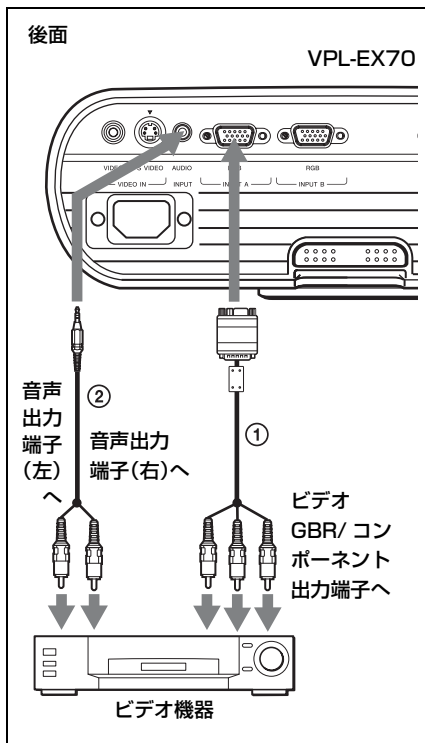
ご注意

Macintosh で出力端子のピン配列が 2 列タイプのものを接続する場合は、市販のアダプターをご使用ください。

ビデオ機器を接続する

ここではビデオ機器を本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

映像出力、S 映像出力端子に接続する場合

① ステレオオーディオ接続ケーブル(別売り)(抵抗なしのものをお使いください)
② ビデオ接続ケーブル(別売り)または S ビデオ接続ケーブル(別売り)

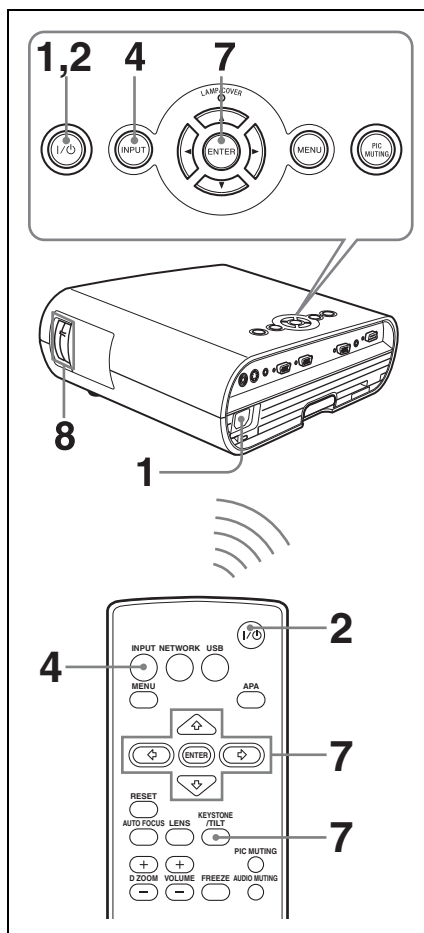
ビデオ GBR/ コンポーネントの出力端子に接続する場合

① シグナルケーブル（別売り）
HD D-sub 15 ピン（凸）←→ 3 ×ピンジャック

② ステレオオーディオ接続ケーブル（別売り）
（抵抗なしのものをお使いください。）

ご注意

・オーディオ接続ケーブルは AUDIO INPUT 端子に接続します。

・入力する信号に応じて、信号設定メニューの「アスペクト」を設定してください。

・ビデオ GBR の出力端子に接続する場合は初期設定メニューの「入力 A 信号種別」をビデオ GBR に、コンポーネントの出力端子に接続する場合はコンポーネントに切り換えてください。

スクリーンに画像を映す

1 電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をしてレンズキャップを外す。

I/⏻ キーが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

I/⏻ キーが緑色に点滅した後、点灯します。（点滅中は操作できません。）

3 **接続した機器の電源を入れる。**

4 **INPUT キーを押して投影する映像を選ぶ。**

キーを押すたびに、映像が以下のように切り換わります。

入力 A → 入力 B（VPL-EX70 のみ）→ ビデオ → S ビデオ

投影する映像	画面の表示
コンピューター / コンポーネント（入力 A 端子につないだ機器の映像）	入力 A
コンピューターなど（入力 B 端子につないだ機器の映像）（VPL-EX70 のみ）	入力 B
ビデオ機器（VIDEO 端子につないだ機器の映像）	ビデオ
ビデオ機器（S VIDEO 端子につないだ機器の映像）	S ビデオ

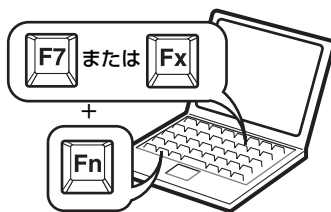
スマート APA（Auto Pixel Alignment）が働き、接続されている機器の画像をくっきりと調整します。

ご注意

・オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。詳しくは、初期設定メニューの「オート入力サーチ」（41 ページ）をご覧ください。

・スマート APA は、コンピューターのアナログ信号入力時にのみ働きます。

5 **接続した機器の映像信号の出力先を切り換える。**

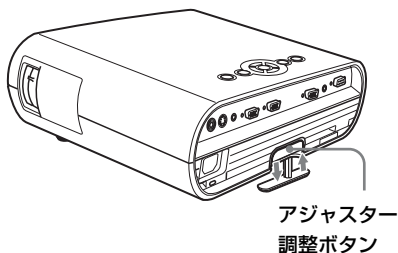
ノートタイプやモニター一体型のコンピューターを接続したときには、キー（LCD/VGA、▭/💻 など）や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。

ご注意

コンピューターの種類によって、切り換えのキーが異なります。

6 **画像の上下の位置を調整する。**

アジャスターを使って、プロジェクターの傾きを調整します。

アジャスターの使いかた

アジャスター調整ボタンを押しながらプロジェクターを持ち上げ、角度を調整し、ボタンを離してアジャスターをロックします。

ご注意

・プロジェクターを調整するときに、手をはさまないようにしてください。
・アジャスターを出した状態で、プロジェクターを上から強くおさえたり、横に強く引きずったりしないでください。故障の原因になります。

7 画像の台形歪み（ ）を調整する（VPL-EX7/ES7 のみ）。

リモートコマンダーの KEYSTONE キーを押して調整メニューを表示し、▲/▼/◀/▶ キーで調整します。

VPL-EX70 について

・アジャスターで高さを調整すると、V キーストーン補正が自動的に働きます。オートキーストーン補正を実行しない場合は、設置設定メニューの V キーストーンを「マニュアル」に設定します。(45 ページ参照)
・V キーストーンをオートに設定すると、V キーストーン補正は自動的に調整されますが、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。この場合は、マニュアルで調整を行います。KEYSTONE キーを押して、画面に「V キーストーン」を表示させ、▲/▼/◀/▶ キーで値を調整してください。

8 画像の大きさとフォーカスを調整する。

ズームリングで画像の大きさ、フォーカスリングでフォーカスを調整します。

電源を切る

1 I/⏻ キーを押す。

「パワーオフしますか？もう一度 I/⏻ キーを押してください。」とメッセージが表示されます。

ご注意

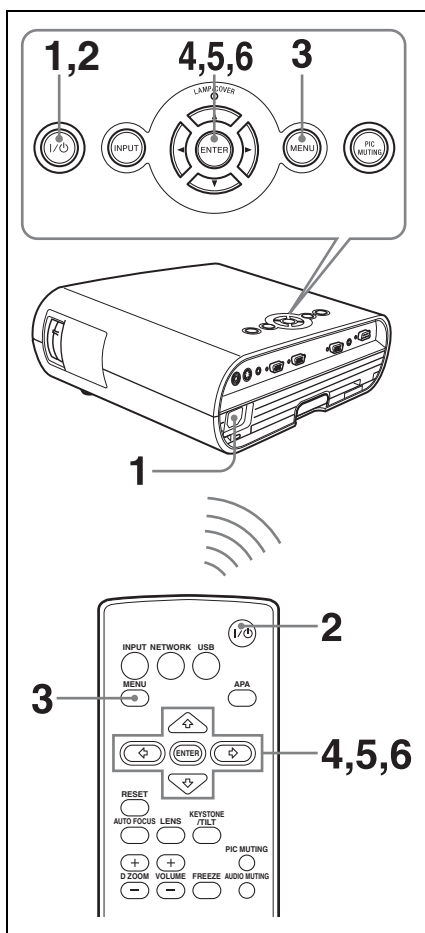
確認のメッセージは I/⏻ キー以外のキーを押すか、5 秒間何もキーを押さないと消えます。

2 I/⏻ キーを再び押す。

I/⏻ キーが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめの 60 秒間は早い間隔で点滅します。この間は再び I/⏻ キーを押しても、再度ランプを点灯させることはできません。

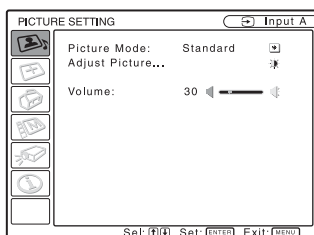
3 ファンが止まり、I/⏻ キーが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。（ダイレクトパワーオン / オフ機能、オフ＆ゴー機能使用時を除く。）

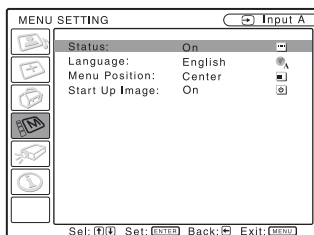
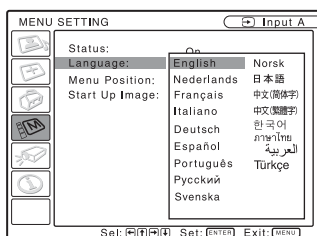
メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を 17 言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」（英語）に設定されています。表示言語を変更したいときは、以下の手順で変更します。

1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

3 MENU キーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

4 ▲または▼キーを押して MENU SETTING （メニュー設定）メニューを選び、▶または ENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

5 ▲または▼キーを押して「Language」（表示言語）を選び、▶または ENTER キーを押す。

6 ▲、▶、◀、▼キーを押して表示させたい言語を選び、ENTER キーを押す。

画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。
約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

セキュリティロック

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源を入れると事前に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと映像を投影できません。

ご注意

- セキュリティロックを有効にした場合、電源コードを抜き挿しした後で電源を入れた時にのみパスワードの入力が求められます。
- パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、本機を使用することができなくなります。この機能をご使用の場合はあらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。

セキュリティロックをかける

1 MENU キーを押して設置設定メニューの「セキュリティロック」を「入」にする。

2 パスワードを入力する。

MENU、▲/▼/◀/▶、ENTER の 6 つのキーを使用して 4 桁のパスワードを入力してください。
（出荷時には“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されていますので、初回使用時には ENTER を 4 回入力してください。）

パスワードを入力してください
＊＊
この機能は起動にパスワードが必要になります。
入力：MENU ◀ ▲ ▶ ▼ ENTER　キャンセル：他キー

次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
（現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。）
パスワードを入力画面に入れる。

新しいパスワードを設定してください。

＊＊

忘れると起動できません。
入力：MENU ←↑→↓ ENTER　キャンセル：他キー

3 **確認の為もう一度パスワードを入力する。**

以下のメッセージが表示されたら完了です。

セキュリティロックが有効になりました。

「パスワードが違います！」というメッセージが画面に表示された場合は、手順**1**からやり直してください。

パスワードが違います！

4 **設定完了後に本機の電源を切り、電源コードを抜き設定を有効にする。**

セキュリティロックが有効となり、次に電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に３回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、I/⏻ キーを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除する

1 **MENU キーを押して設置設定メニューの「セキュリティロック」を「切」にする。**

2 **パスワードを入力する。**

設定してあるパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまったためソニーの相談窓口へお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります（国／地域によって異なります）。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

その他の機能

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。

オフ & ゴー機能

会議室などをすぐに移動するような場合には、電源を切り、すぐ電源コードを抜くことができます。

ご注意

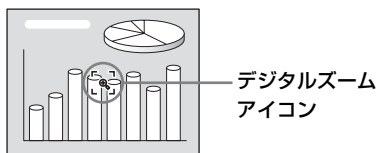
パワーオフしてすぐにパワーオンすると、ランプが点灯しにくい場合があります。その場合は、少し時間が経ってから電源を入れてください。

プレゼンテーション機能

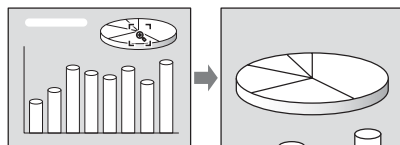
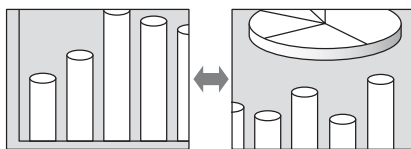
画面を拡大する（デジタルズーム機能）

画面上の希望の位置を拡大できます。
この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
ビデオ信号を入力しているときは働きません。

1 通常の画面を映し、リモートコマンダーの D ZOOM ＋キーを押す。

画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。

3 もう一度 D ZOOM ＋キーを押す。

アイコンのある位置を中心に画像が拡大され、拡大率が数秒間画面に表示されます。＋キーを押すごとに拡大率が上がります（最大 4 倍）。

また、この状態で ▲/▼/◀/▶ キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。

拡大した画像を元の大きさに戻すには

D ZOOM －キーを押します。一度で元の大きさに戻すには、リモートコマンダーの RESET キーを押します。

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

リモートコマンダーのFREEZEキーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
元の画面に戻すには、FREEZEキーをもう一度押します。

メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。

画面に表示される項目について

入力信号表示

入力信号設定表示

画質の調整などを行う調整メニュー

入力信号表示

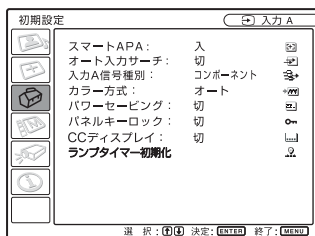
選択されている入力チャンネルを表示します。信号が入力されていないときは x⊡ 表示になります。メニュー設定メニューの「画面表示」で非表示にすることもできます。

入力信号設定表示

入力 A の場合：オートまたはメニュー設定されている入力 A 信号種別が表示されます。

ビデオ /S ビデオの場合：オートまたはメニュー設定されているカラー方式が表示されます。

1　MENU キーを押す。

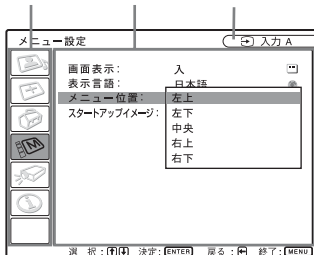
メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューボタンが黄色で表示されます。

2　▲ または ▼ キーを押してメニューを選び、▶ または ENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

3　▲ または ▼ キーを押して設定したい項目を選び、▶ または ENTER キーを押す。

選んだ項目の設定項目がポップアップメニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー表示画面

メニュー　設定項目　現在の入力信号

次の階層に表示された画面

4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：
数値を大きくするときは、▲ または ▶ キーを押す。
数値を小さくするときは、▼ または ◀ キーを押す。
ENTER キーを押すと元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：
▲または▼キーを押して設定を選び、◀ または ENTER キーを押す。
元の画面に戻ります。

メニュー画面を消す

MENU キーを押す。
約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

リセットしたい設定値を選択してリモートコマンダーの RESET キーを押す。
「終了しました！」というメッセージが表示され、画面に表示中の選んだ項目の**設定値が工場出荷時の値に戻ります。**
リセットできる項目は以下のとおりです。

- 画質設定メニューにある「画質調整 ...」の「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」と「シャープネス」
- 信号設定メニューにある「入力信号調整 ...」の「ドットフェーズ」、「水平サイズ」と「シフト」

設定値の記憶について

設定値は ENTER キーを押すと自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

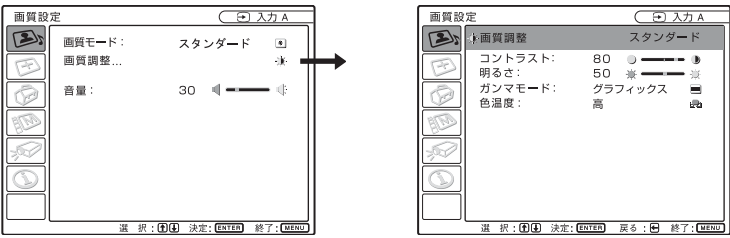
調整できない項目について

入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

◆詳しくは、47 ページをご覧ください。

画質設定メニュー

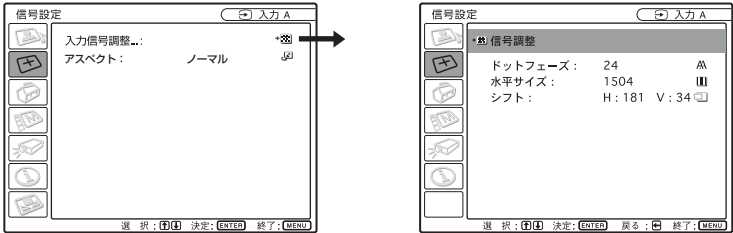
画質や音量を調整するメニューです。
メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。

◆詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（47 ページ）をご覧ください。

設定項目	機能	初期設定値
画質モード	画質モードを選びます。 ・**ダイナミック：**明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。 ・**スタンダード：**標準的な画質になります。 ・**ゲーム：**ゲームなどを観るのに適した画像になります。 ・**リビング：**スポーツ、ミュージック、デジタルビデオカメラなどの素材を観るのに適した画像になります。 ・**シネマ：**映画などを観るのに適した画像になります。 ・**プレゼンテーション：**コンピューター信号入力時、プレゼンテーションに適した明るい画質になります。	入力信号による
画質調整 ...	下記の項目は、「画質モード」ごとに設定値が記憶されます。	
コントラスト	コントラストを調整します。	80
明るさ	明るさを調整します。	50
色の濃さ	色の濃さを調整します	50
色あい	色あいを調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。	50

設定項目	機能	初期設定値
シャープネス	シャープネスを調整します。設定値が大きくなると映像がくっきりし、小さくなると映像が柔らかくなります。	30
ガンマモード	ガンマ補正曲線を選びます。 ・**グラフィックス：**中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。 ・**テキスト：**白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。	グラフィックス
色温度	画像に合わせて好みの色温度を選びます。 ・**高：**画像の白い部分を青みがかった白にします。 ・**中**：画像の白い部分を自然な白にします。 ・**低：**画像の白い部分を赤みがかった白にします。	入力信号による
DDE（ダイナミック・ディティール・エンハンサー）	入力ビデオ信号を素材に応じて再現する方法を選びます。 ・**切：**インターレースのまま変換せずに再生します。 ・**プログレッシブ：**インターレースのビデオ画像をプログレッシブに変換して再生します。 ・**フィルム：**映画ソフトなど、2-2、2-3 プルダウン方式の素材をなめらかな動きで再現します。また、2-2、2-3 プルダウン方式以外の素材の場合は、自動的に「プログレッシブ」に切り換えて再生します。	フィルム
音量	音量を調節します。	30

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。

入力信号調整画面（コンピューター信号を入力しているとき）

設定項目		機能	初期設定値
入力信号調整 ...			
	ドットフェーズ	LCD パネルとコンピューターから出力される信号の位相を調整します。APA キーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。	入力信号による
	水平サイズ	コンピューターから出力される信号の画像の水平方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。 詳しくは、「プリセット信号一覧」（62 ページ）をご覧ください。	入力信号による
	シフト	画像の位置を調整します。 H で水平方向の位置を、V で垂直方向の位置を調整します。 H の設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 V の設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。 ◀または▶キーで水平方向の位置を、▲または▼キーで垂直方向の位置を設定します。	入力信号による

設定項目	機能	初期設定値
アスペクト （ビデオ信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。ビデオ信号入力時（メモリーナンバー 1 ～ 11）の場合のみ設定可能です。 ・**4：3：**アスペクト比を 4:3 にします。 ・**16：9：**スクイーズの映像を入力しているときに選びます。 ・**ズーム：**オリジナル映像のアスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。（メモリーナンバー 1 ～ 6 の場合のみ）	入力信号による
アスペクト （PC 信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。PC 信号入力時のみ（メモリーナンバー 21 ～ 63）設定可能です。 ・**フル 1：**オリジナル映像の縦横比を変えずに縦または横いっぱいに映します。 ・**フル 2：**オリジナル映像を画面いっぱいに映します。 ・**ノーマル：**入力画素数を LCD の 1 ピクセルに合わせて表示します。画像は鮮明になりますが、画面に表示される画像は小さくなります。	入力信号による

ご注意

・"アスペクト" は入力信号により、一部の設定項目が表示されません。
・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイドモード切り換え機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ45種類の映像データをプリセットしています（プリセットメモリー）。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信号種類は情報メニュー画面（47ページ）に表示されます。
プリセットされたデータを信号設定メニューで調整することもできます。

◆詳しくは、「プリセット信号一覧」（62ページ）をご覧ください。

ご注意

アスペクト（縦横比）がフル2以外の場合、画面の一部が黒で表示されることがあります。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。

設定項目	機能	初期設定値
スマート APA	APA （Auto Pixel Alignment）とは、コンピュータ信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の 3 つの項目を自動で調整します。 ・**入：**コンピューター信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。「入」に設定されているときでも、リモートコマンダーの APA キーを押して調整することができます。 ・**切：**リモートコマンダーの APA キーを押したときのみ調整が始まります。	入
オート入力サーチ	「入」に設定した場合、電源投入時または INPUT キーが押されたときに、入力 A/ 入力 B（VPL-EX70 のみ）/ ビデオ /S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。	切

設定項目	機能	初期設定値
入力 A 信号種別	INPUT A に入力される信号の種類を選択します。INPUT ボタンで「入力 A」を選んで映す機器からの信号の種類を選びます。 ・**オート：**入力されている信号の種類を自動判別して設定します。 ・**コンピューター：**パソコンからの信号を入力するとき。 ・**コンポーネント：**DVD プレーヤー／レコーダー、ブルーレイディスクプレーヤー（BD）、地上デジタル・BS・110 度 CS（CS1、CS2）・デジタル CS チューナーなどからのコンポーネント信号を入力するとき。 ・**ビデオ GBR：**ゲーム機、ハイビジョン放送などの信号を入力するとき。	オート
カラー方式	カラー方式を選びます。 「オート」にすると、自動的にカラー方式を判断します。信号の状態が悪く、画像が乱れたり、色がつかない場合は、入力信号のカラー方式を選択してください。	オート
パワーセービング	節電モードの設定を選びます。 ・**ランプオフ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くとランプが消えます。信号が入力されたり、キーを操作したりすると再びランプが点灯します。 ・**スタンバイ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くとスタンバイ状態になります。再び使用する場合は、もう一度電源を入れてください。 ・**切：**節電モードに入りません。	切

設定項目	機能	初期設定値
パネルキーロック	本体天面のコントロールパネルキーをすべてロックし、リモートコマンダーのみで操作するように制御できます。 コントロールパネルキーをロックしたいときは、「入」に設定します。 「入」に設定時、本体がスタンバイ状態でコントロールパネルの I/⏻ キーを約 10 秒押すと電源が入り、電源が入った状態で押すと、スタンバイ状態になります。 電源が入った状態で MENU キーを約 10 秒押すとロックが解除され、設定が「切」になります。	切
CC ディスプレイ	クローズドキャプション（CC）機能を制御します。 ・**切：**クローズドキャプション（CC）機能を使用しません。 ・**CC1/CC2/CC3/CC4/TEXT1/TEXT2/TEXT3/TEXT4：**文字表示または効果音のプログラムを選択します。	切
ランプタイマー初期化	光源用のランプ交換をしたときに、ランプタイマーを初期化します。	−

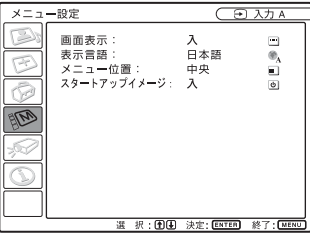
ご注意

・APA キーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しく APA 機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。
  - 調整中にもう 1 度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
  - 信号によっては、正しく調整されないことがあります。
  - 画質を手動で調整するときは、信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の調整をしてください。

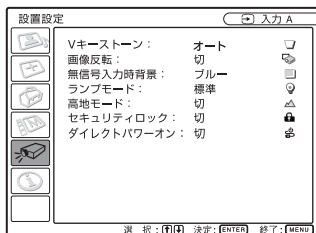
・入力 A 信号種別を「オート」に設定して入力されている信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。

・クローズドキャプションは、次の場合は表示されません。
  - 音量調整を行っているとき
  - メニューを操作しているとき
  - ランプ交換等のメッセージが表示されているとき

メニュー設定メニュー

本機のメニュー表示について変更するメニューです。

設定項目	機能	初期設定値
画面表示	画面表示の設定をします。「切」に設定した場合、メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。	入
表示言語	メニュー画面表示の言語を変更します。「English」（英語）、「Nederlands」（オランダ語）、「Français」（フランス語）、「Italiano」（イタリア語）、「Deutsch」（ドイツ語）、「Español」（スペイン語）、「Português」（ポルトガル語）、「Pyccкий」（ロシア語）、「Svenska」（スウェーデン語）、「Norsk」（ノルウェー語）、「**日本語**」、「中文(简体字)」（中文簡体字）、「中文(繁體字)」（中文繁体字）、「한국어」（韓国語）、「ภาษาไทย」（タイ語）、「العربية」（アラビア語）、「Türkçe」（トルコ語）から選ぶことができます。	English（英語）
メニュー位置	メニューの表示位置を設定します。 「左上」、「左下」、「中央」、「右上」、「右下」から選択します。	中央
スタートアップイメージ	・**入：**電源を入れた後にスタートアップイメージを画面に表示します。 ・**切：**電源を入れた後にスタートアップイメージを画面に表示しません。	入

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。

設定項目	機能	初期設定値
V キーストーン（VPL-EX70 のみ）	投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。自動で調整する場合は「オート」に設定し、手動で調整する場合は「マニュアル ...」に設定します。 ▲/▼/◀/▶ キーで調整します。 **画面の上辺より下辺が長い場合** マイナス方向に数値を設定します。 **画面の下辺より上辺が長い場合** プラス方向に数値を設定します。	オート
V キーストーン（VPL-EX7/ES7 のみ）	投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。 リモートコマンダーの ▲/▼/◀/▶ キーで調整します。 **画面の上辺より下辺が長い場合** マイナス方向に数値を設定します。 **画面の下辺より上辺が長い場合** プラス方向に数値を設定します。	0
画像反転	画像を水平または垂直方向に反転します。 · **上下左右：**画像を水平、垂直方向に反転します。 · **左右：**画像を水平方向に反転します。 · **上下：**画像を垂直方向に反転します。 · **切：**画像は反転しません。	切
無信号入力時背景	本機に信号が入力されていない場合の画面の色を「ブラック」、「ブルー」の中から選択します。通常は「ブルー」に設定してください。	ブルー
ランプモード	投影時のランプの明るさを設定します。 · **高：**画面が明るくなります。 · **標準：**投影時のファン音が静かになり、消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。	標準

設定項目	機能	初期設定値
高地モード	海抜 1500m 以上の高地でのご使用の場合は「入」に設定します。	切
セキュリティロック	本機にセキュリティロックを設定します。「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。 ◆詳しくは、「セキュリティロック」（30 ページ）をご覧ください。	切
ダイレクトパワーオン	ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合は、ダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。 スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。	切

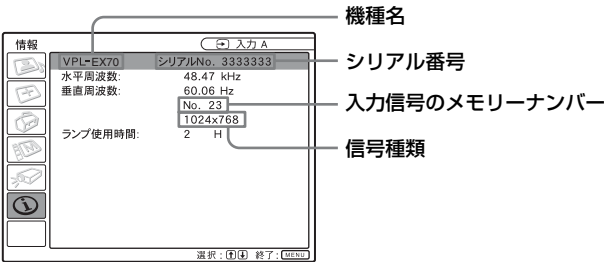
ご注意

・V キーストーン補正を使用した場合、電気的な補正のため、画質が劣化する場合があります。
・海抜 1500m 未満で高地モードを「入」に設定すると、ランプの信頼性に影響する恐れがあります。

ご注意（VPL-EX70 のみ）

・V キーストーン補正の自動調整は、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。
・V キーストーンの設定が「オート」の場合に補正量を微調整するには、本体コントロールパネルまたはリモコンのキーストーンキーを押し、値を変更してください。一時的にオート設定からマニュアルモードに移行します。
もう 1 度「オート」として動作させたい場合は、V キーストーン設定を「マニュアル」に切り換えたあと、「オート」に戻してください。
・微調整した補正量を次回使用時に適用させたい場合は、V キーストーン設定を「オート」から「マニュアル」に変更してください。

情報メニュー

プロジェクターの機種名、シリアル番号、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。

設定項目	機能
水平周波数	水平周波数を表示します。 周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。
垂直周波数	垂直周波数を表示します。 周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。
ランプ使用時間	ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

これらの項目は、表示のみです。変更はできません。

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、次の表をご覧ください。
調整･設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオ または S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
画質モード	○	○	○	○
画質調整				
コントラスト	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
色の濃さ	○	○	○	×
色合い	○ (NTSC 3.58/ 4.43 のみ)	○	○	×
シャープネス	○	○	○	×
ガンマモード	×	×	×	○
色温度	○	○	○	○ *2
DDE	○	○ (インターレースのみ) *1	○ (インターレースのみ) *1	×
音量	○	○	○	○

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

*1：プリセットメモリーナンバー 7、8 を除く

*2：プレゼンテーションモードのときは設定不可

信号設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオ または S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
アスペクト	○	○	○	○ *3
入力信号調整				
ドットフェーズ	×	×	×	○
水平サイズ	×	×	×	○
シフト	×	○	○	○

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

*3：プリセットメモリーナンバーが 49 以外のときに設定可能

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

・光源のランプが切れたとき
・光源のランプが暗くなったとき
・「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたとき
・LAMP/COVER インジケーターが点灯したとき（3 回点滅のくり返し）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-E191 をお使いください。
それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

ご注意

・**ランプが破損している場合は、ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。**
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、ランプが破損することがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

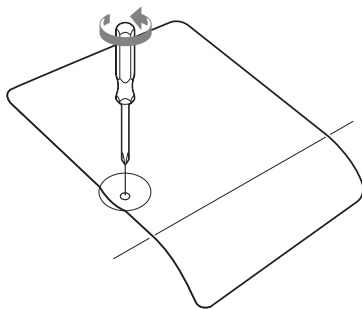
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

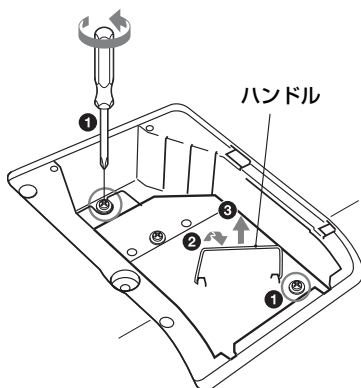
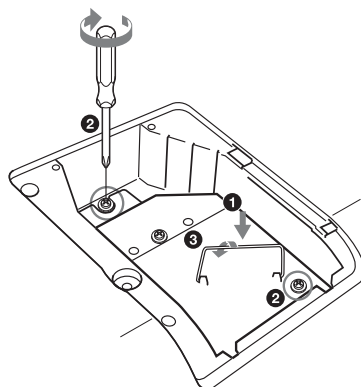
2 本機や机に傷がつかないよう布などを敷き、その上で本機を裏返す。

ご注意

プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

3 ランプカバーのネジ（1 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開く。

ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

4 ランプのネジ（2 本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出し用ハンドルを起こし（❷）ハンドルを持ってランプを引き出す（❸）。

5 **新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（2本）を締め（❷）、取り出し用ハンドルを倒して元に戻す（❸）。**

ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
・ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。

6 **ランプカバーを閉め、ネジ（1本）を締める。**

ご注意

ランプカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

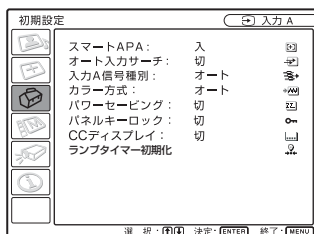
7 **本機の向きを元にもどす。**

8 **電源コードを接続する。**

I/⏻ キーが赤色に点灯します。

9 **I/⏻ キーを押して電源を入れる。**

10 **MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。**

11 **「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。**

12 **▼ キーで「実行」を選び、ENTER キーを押す。**

ランプタイマーが0に初期化され、「ランプを交換し、フィルターを掃除しましたか？」というメッセージが表示されます。

ランプを交換し、フイルターを掃除しましたか？

はい：⬆　いいえ：⬇

フィルター掃除のしかたは、「エアーフィルターをクリーニングする」（51 ページ）をご覧ください。

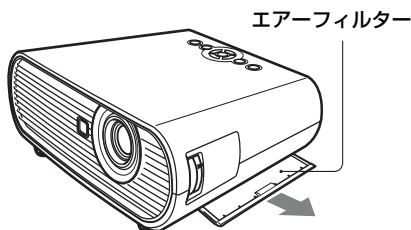
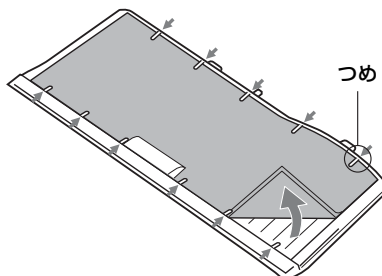
13▲キーで「はい」を選ぶ。

「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

エアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換と合わせてエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターを取りはずし、掃除機で掃除してください。
クリーニング時期は目安です。使用環境や使いかたによって異なります。
掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずして洗ってください。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 エアーフィルターカバーを引き出して取りはずす。

3 エアーフィルターを引き出して取りはずす。

4 中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。

5 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめにはめて、エ

お手入れ

アーフィルターカバーを本機に取り付ける。

ご注意

- **エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。**
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
- エアーフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、フィルターカバーの形状に合わせて入れてください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I/⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔約90秒たってから電源を入れてください。（28ページ） ・ランプカバーがはずれている。 ➔ランプカバーをしっかりとはめてください。（49ページ） ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。（51ページ）

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。（23ページ） ・接続手順が正しくない。 ➔本機はDDC2B（Display Data Channel 2B）に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は、**1.** 本機とコンピューターを接続し、**2.** 本機の電源を入れ、**3.** コンピューターを起動してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔投影する映像を正しく選んでください。（42ページ） ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔PIC MUTINGキーを押して、ミューティングを解除してください。（20ページ） ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。（23ページ）
画面にノイズが出る。	入力信号のドット数とLCDパネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。

症状	原因と対処
INPUT A 端子から入力している映像の色がおかしい。	初期設定メニューの「入力 A 信号種別」の設定が「オート」では受けられない、または入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 A 信号種別」で、「コンピューター」、「ビデオ GBR」、「コンポーネント」の設定を正しく合わせてください。（42 ページ）
画面表示が出ない。	メニュー設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 ➔「画面表示」の設定を「入」にしてください。（44 ページ）
色がおかしい。	・画質の調整をしていない。 ➔画質の調整をしてください。（36 ページ） ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。（42 ページ）
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔画質調整 ... メニューで正しく設定してください。（36 ページ） ・ランプが消耗している。 ➔ランプを交換してください。（49 ページ）
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔フォーカスを合わせてください。（27 ページ） ・結露が生じた。 ➔電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	・画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。（38 ページ） ・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 ➔対応範囲内の信号を入力してください。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 ➔出力信号の設定を SVGA（VPL-ES7）または XGA（VPL-EX70/EX7）にしてください。（23 ページ）
画面がちらつく。	信号設定メニューの「ドットフェーズ」の設定が合っていない。 ➔信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。（38 ページ）

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。(23ページ) ・正しいケーブルで接続されていない。 ➔抵抗なしのステレオオーディオ接続ケーブルをお使いください。(23ページ) ・音量が正しく調整されてない。 ➔リモートコマンダーのVOLUME＋/－キーまたはメニュー画面(37ページ)で正しく調整してください。

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	電池の交換時期がきた。 ➔新しい電池と交換してください。(20ページ)

その他に関する項目

症状	原因と対処
本体のコントロールパネルキーが操作できない。	コントロールパネルキーがロックされている。 ➔キーロックを解除してください。(43ページ)

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(2回点滅パターンの繰り返し)	ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔カバーをしっかりはめてください。(49、51ページ)
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(3回点滅パターンの繰り返し)	・ランプの交換時期がきた。 ➔ランプを交換してください。(49ページ) ・ランプが高温になっている。 ➔60秒以上たって、ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。

症状	原因と対処
I/⏻ キーが赤色点滅する。（2 回点滅パターンの繰り返し）	・内部が高温になっている。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔高地モードが「入」に設定されているか確認してください。（46 ページ）
I/⏻ キーが赤色点滅する。（4 回点滅パターンの繰り返し）	ファンが故障している。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。（6 回点滅パターンの繰り返し）	電源コードを抜いて、I/⏻ キーの点滅がなくなったことを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障している。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
ランプを交換 / フィルター掃除が必要です。	・ランプの交換およびフィルター掃除の時期が来た。 ➔ランプを交換してください。(49 ページ) ➔フィルターを掃除してください。(51 ページ) ・ランプ交換後も表示される場合は、作業が完了されていない。 ➔50 ページの手順 **10** ～ **13** を行ってください。

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
無効キーが押されました。	操作が正しくない。 ➔正しいキーを押してください。
パネルキーロック中です！	初期設定メニューの「パネルキーロック」が「入」に設定されている。 ➔コントロールパネルのキーは全てロックされています。 リモートコマンダーで操作してください。(43 ページ)

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。
保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、3 原色液晶シャッター投写方式
LCD パネル　VPL-EX70/EX7：0.63 インチ XGA パネル、約 236 万画素（1024 × 768 × 3）
VPL-ES7：0.63 インチ SVGA パネル、約 144 万画素（800 × 600 × 3）
レンズ　1.2 倍ズームレンズ
f 18.53 ～ 22.18 mm、F1.65 ～ 1.93
ランプ　190 W 高圧水銀ランプ
投影画面サイズ
40 インチ～ 300 インチ
光出力 1)　VPL-EX70：2600 lm
VPL-EX7/ES7：2000 lm

1) ランプモード 高のとき

出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離（床置き / アジャスター伸ばさず、キーストーン補正あり）

投影画面サイズ（対角）（インチ）	距離（m）
40	1.1 ～ 1.4
80	2.3 ～ 2.8
100	2.9 ～ 3.5
150	4.4 ～ 5.2
200	5.8 ～ 7.0
250	7.3 ～ 8.8
300	8.8 ～ 10.5

（設計値のため多少の誤差あり）

電気系

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）

解像度　VPL-EX70/EX7：水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）1024 × 768 ドット（RGB 入力時）
VPL-ES7：水平解像度 500TV 本（ビデオ入力時）800 × 600 ドット（RGB 入力時）

対応コンピューター信号[2)]
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
（最高入力解像度信号：SXGA ＋ 1400 × 1050 fV: 60Hz）

[2)] 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号
15k RGB/ コンポーネント 50/60Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60Hz、DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、コンポジットビデオ、Y/C ビデオ

スピーカー　モノラルスピーカーシステム 40 × 28.5 mm

スピーカー出力
最大 1 W × 1

入出力

VIDEO IN（ビデオ入力）
VIDEO：ピンジャック
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
S VIDEO：Y/C、ミニ DIN4 ピン
Y（輝度）信号 :1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
C（クロマ）信号 :
バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）（75Ω 終端）
バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）（75Ω 終端）

INPUT A（入力 A）
RGB：HD D-sub 15 ピン、凹
アナログ RGB/ コンポーネント :
R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
HD：水平同期入力 : TTL レベル、正負極性
VD：垂直同期入力 :TTL レベル、正負極性

INPUT B（入力 B）
RGB（VPL-EX70 のみ）：HD D-sub 15 ピン、凹
アナログ RGB：
R：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω

終端）
B：0.7 Vp-p ± 2 dB （75Ω 終端）
HD：水平同期入力：TTL レベル、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、正負極性

AUDIO INPUT
ステレオミニジャック、定格入力 500mVrms、インピーダンス 47kΩ 以上

OUTPUT　MONITOR OUT：HD-D-sub15 ピン、凹
R、G、B：Gain Unity：75Ω
HD、VD：4 Vp-p（オープン）、1 Vp-p（75Ω）
AUDIO OUT（出力可変）：ステレオミニジャック
1 Vrms（ボリューム最大、500 mVrms 入力時）、出力インピーダンス 5 kΩ 以下

REMOTE（VPL-EX70/EX7 のみ）RS-232C：D-sub 9 ピン

一般

外形寸法　314 × 109 × 269 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　VPL-EX70：約 3.0 kg
VPL-EX7/ES7：約 2.9 kg

電源　VPL-EX70/EX7：AC100V、2.6 A、50/60 Hz
VPL-ES7：
AC100 V、2.4 A、50/60 Hz

消費電力　VPL-EX70/EX7：最大 260W、スタンバイ時：3W
VPL-ES7：最大 240 W
スタンバイ時：3 W

発熱量　884 BTU（VPL-EX70/EX7）
816 BTU（VPL-ES7）

動作温度　0 ℃ ～ + 35 ℃

動作湿度　35 % ～ 85 %（結露しないこと）

保存温度　－ 20 ℃ ～ + 60 ℃

保存湿度　10 % ～ 90 %

付属品　リモートコマンダー（1）
リチウム電池 CR2025（1）
HD D-sub 15 ピンケーブル（1.8 m）（1）（1-832-428-11, SONY）
キャリングケース（1）
電源コード（1）
レンズキャップ（1）
取扱説明書（CD-ROM）（1）
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

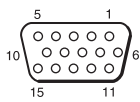
ご注意

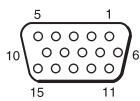
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

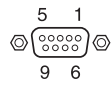
別売りアクセサリー

プロジェクターランプ LMP-E191（交換用）

ピン配列

INPUT A 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）

1	映像入力（赤）R/R-Y	9	DDC 用電源入力
2	映像入力（緑）G/Y	10	接地
3	映像入力（青）B/B-Y	11	接地
4	RESERVE	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

INPUT B 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）（VPL-EX70 のみ）

1	映像入力（赤）R	9	DDC 用電源入力
2	映像入力（緑）G	10	接地
3	映像入力（青）B	11	接地
4	RESERVE	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）（VPL-EX70/EX7 のみ）

1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

プリセット信号一覧

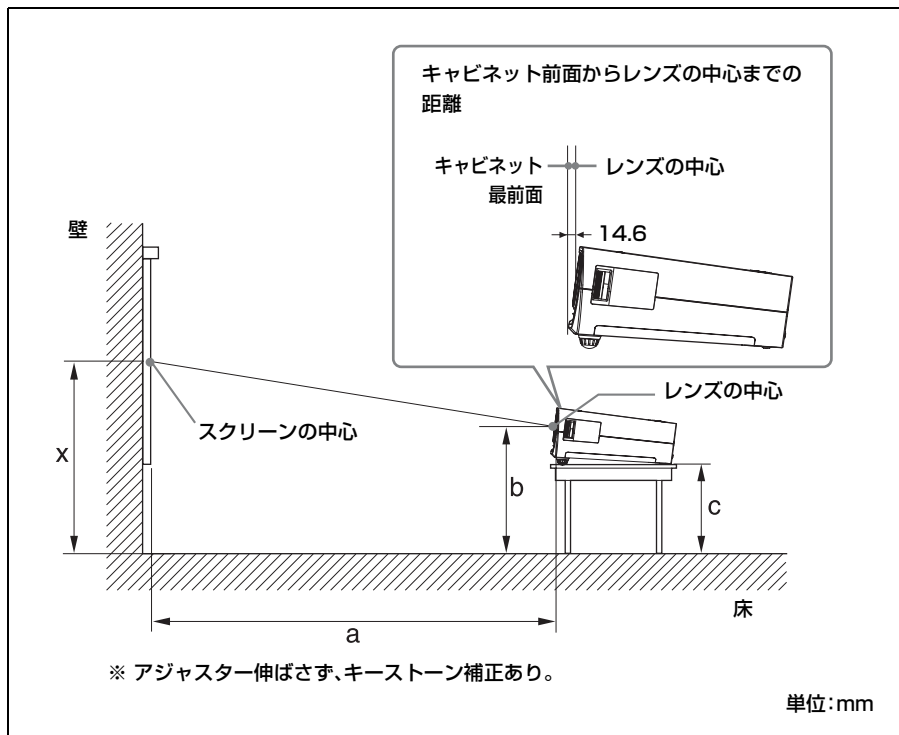
メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期
1	ビデオ /60 Hz	60Hz	15.734	59.940	–
2	ビデオ /50 Hz	50Hz	15.625	50.000	–
3	480/60i	480/60i	15.734	59.940	S on G/Y
4	575/50i	575/50i	15.625	50.000	S on G/Y
5	480/60p	480/60p（倍速 NTSC）	31.470	60.000	S on G/Y
6	575/50p	575/50p（倍速 PAL）	31.250	50.000	S on G/Y
7	1080/60i	1035/60i, 1080/60i	33.750	60.000	S on G/Y
8	1080/50i	1080/50i	28.130	50.000	S on G/Y
10	720/60p	720/60p	45.000	60.000	S on G/Y
11	720/50p	720/50p	37.500	50.000	S on G/Y
21	640 × 350	VGA モード 1	31.469	70.086	H- 正 V- 負
22		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H- 正 V- 負
23	640 × 400	PC9801 ノーマル	24.823	56.416	H- 負 V- 負
24		VGA モード 2	31.469	70.086	H- 負 V- 正
25		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H- 負 V- 正
26	640 × 480	VGA モード 3	31.469	59.940	H- 負 V- 負
27		Macintosh 13"	35.000	66.667	H- 負 V- 負
28		VGA VESA 72Hz	37.861	72.809	H- 負 V- 負
29		VGA VESA 75Hz	37.500	75.000	H- 負 V- 負
30		VGA VESA 85Hz	43.269	85.008	H- 負 V- 負
31	800 × 600	SVGA VESA 56Hz	35.156	56.250	H- 正 V- 正
32		SVGA VESA 60Hz	37.879	60.317	H- 正 V- 正
33		SVGA VESA 72Hz	48.077	72.188	H- 正 V- 正
34		SVGA VESA 75Hz	46.875	75.000	H- 正 V- 正
35		SVGA VESA 85Hz	53.674	85.061	H- 正 V- 正
36	832 × 624	Macintosh 16"	49.724	74.550	H- 負 V- 負
37	1024 × 768	XGA VESA 60Hz	48.363	60.004	H- 負 V- 負
38		XGA VESA 70Hz	56.476	70.069	H- 負 V- 負
39		XGA VESA 75Hz	60.023	75.029	H- 正 V- 正
40		XGA VESA 85Hz	68.677	84.997	H- 正 V- 正
41	1152 × 864	SXGA VESA 70Hz	63.995	70.019	H- 正 V- 正
42		SXGA VESA 75Hz	67.500	75.000	H- 正 V- 正
43		SXGA VESA 85Hz	77.487	85.057	H- 正 V- 正

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期
44	1152 × 900	Sunmicro LO	61.795	65.960	H- 負 V- 負
45	1280 × 960	SXGA VESA 60Hz	60.000	60.000	H- 正 V- 正
46		SXGA VESA 75Hz	75.000	75.000	H- 正 V- 正
47	1280 × 1024	SXGA VESA 60Hz	63.974	60.013	H- 正 V- 正
48		SXGA VESA 75Hz	79.976	75.025	H- 正 V- 正
49		SXGA VESA 85Hz	91.146	85.024	H- 正 V- 正
50	1400 × 1050	SXGA+ 60Hz	65.317	59.978	H- 負 V- 正
55	1280 × 768	WXGA 60Hz	47.776	59.870	H- 負 V- 正
56	1280 × 720	WXGA 60Hz	44.772	59.885	H- 負 V- 正
60	1360 × 768	1360 × 768/60	47.720	59.799	H- 負 V- 正
61	1440 × 900	1440 × 900/60	55.935	59.887	H- 負 V- 正
63	1280 × 800	1280 × 800/60	49.702	59.810	H- 負 V- 正

ご注意

- 上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- SXGA+ 信号を入力した場合、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。その場合、画像のまわりに黒い部分が映っていない信号を入力し、接続しているケーブルの抜き差しをするか、INPUT キーを押して再度入力信号を選んでください。
- パネル解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一になる場合があります。

設置寸法

床置き、フロントト投影

本機を机などの上に置いて設置する場合の設置例を示します。

設置寸法については、次ページの表をご覧ください。

イラスト中のアルファベットは、以下の距離を示します。

a：レンズの中心からスクリーンまでの距離

b：床からレンズの中心までの距離

c：床から本機の脚までの距離

x：床からスクリーン中心までの距離（任意）

単位：mm

PS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	N	1180	1780	2390	2990	3600	4510	5410	6020	7530	9050
	M	1330	2020	2700	3380	4070	5090	6110	6800	8500	10210
b		下記計算式による									
c		下記計算式による									

a（N） = {(PS × 29.376) × 1.03} - 31.7

a（M） = {(PS × 35.202) × 0.97} - 31.7

b = x − {PS × 5.055 + (a + 31.7) × 0.1405 - 4.5}

c = x − {PS × 5.055 + (a + 31.7) × 0.1405 - 4.5 + 90.5}

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。

PS：投影画面サイズ（対角）（インチ）

a：レンズの中心からスクリーンまでの距離

b：床からレンズの中心までの距離

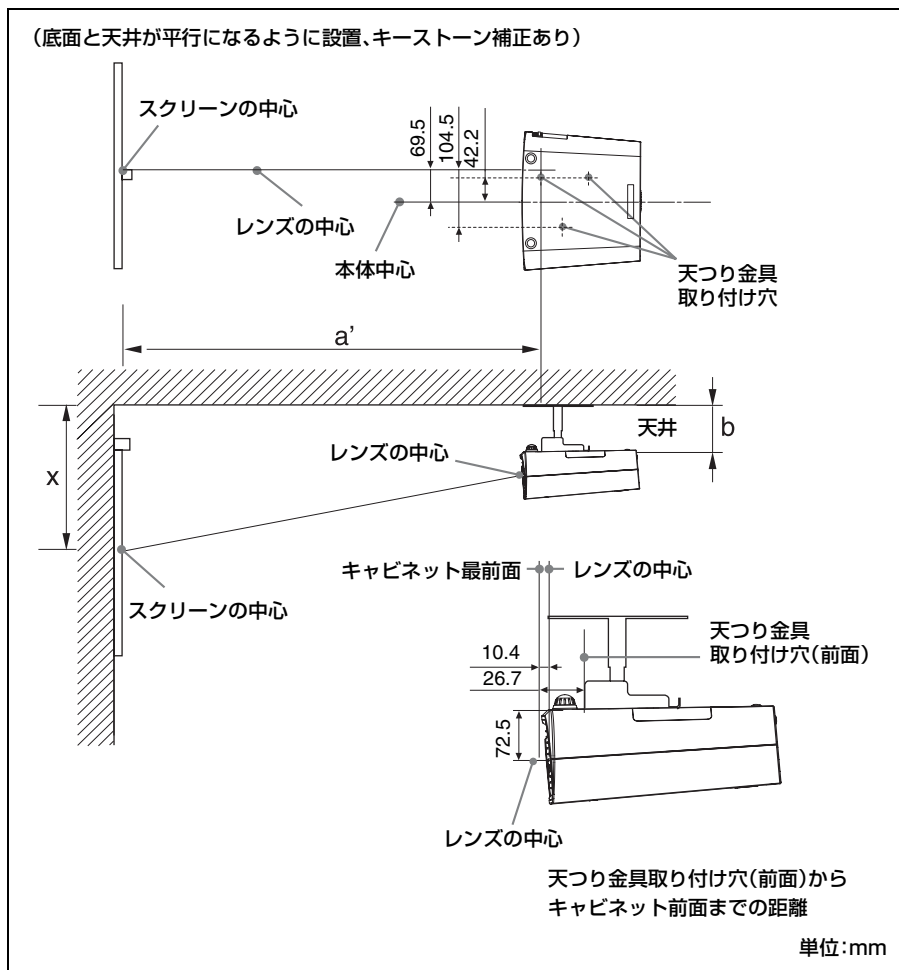
c：床から本機の脚までの距離

x：任意

N：最小値

M：最大値

その他

天井つり、フロントト投影

本機を天井からつり下げて設置する場合の設置例を示します。
天井つりの場合は、ソニー推奨のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。設置について詳しくは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
設置寸法については、次ページの表をご覧ください。

イラスト中のアルファベットは、以下の距離を示します。

a’：本機底面の天つり金具取り付け穴（前面）からスクリーンまでの距離
b：天井から天つり金具取り付け穴（前面）までの距離
x：天井からスクリーン中心までの距離

単位：mm

PS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a’	N	1200	1800	2410	3010	3620	4530	5440	6040	7560	9070
	M	1350	2040	2720	3410	4090	5120	6140	6830	8540	10250
x		下記計算式による									
b		任意									

a’(N) = {(PS × 29.415) × 1.03} - 32.0 + 16.4

a’(M) = {(PS × 35.283) × 0.97} - 32.0 + 16.4

x = b + {PS × 5.073 + (a’ + 32.0 - 16.4) × 0.07344 - 2.3 + 72.5}

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。
PS：投影画面サイズ（対角）（インチ）
a’：本機底面の天つり金具取り付け穴（前面）からスクリーンまでの距離
b：天井から天つり金具取り付け面までの距離
x：天井からスクリーン中心までの距離
N：最小値
M：最大値

寸法図

前面

側面

天面

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

その他

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389 **受付時間** 月〜金:9:00〜20:00 土・日・祝日:9:00〜17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/